

■ 開発研究 1 の整理

Narrative が発達 へ影響する能力	Narrative skill 評価項目	開発研究① 子どもの物語行為評価項目	システムによる足場かけ
自伝的記憶 (Autobiographical Memory)	意味 (Making Meaning) 評価 (Evaluation)	なし	なし
認知 (Cognition) プラン・モニター・評価	一貫性	スリップ	システムが、「読み聞かせ」と「物語作成」の活動（「欠如－補充」「試練－克服」）を提供することにより、物語の結末を埋めるような意識をもたせ、一貫性のある話を展開できるよう支援する ・ <u>シーンの設定</u> （背景に表示することができるシーン[本端部・展開部・解決部]の一覧）
因果関係と時間 (Cause-and-effect and time reasoning)	結束性	因果的統合数 (行為→状態／状態→行為) (心的状態→行為／行為→心的状態) (状態→心的状態)	子どもが、ボタン操作した設定が、ストーリー展開ウィンドウに画像の変化が表示され、それらの動きを見ることにより、 <u>因果的な文章</u> を産出することを支援する ・ <u>ストーリーの展開表示</u> （ウィンドウに選択されたシーンや登場人物が表示され、話を展開が表示される） ↑ 表情・動作・情景の設定により表示される
心の理論・他者理解 (Theory of Mind)	(心理状態に関する言語)	作話内容（心的状態） 因果的統合数 (心的状態→行為／行為→心的状態) (状態→心的状態)	子どもが、登場人物の表情を変更することにより、登場人物の心的状態に触れた文章を産出するよう支援する ・ <u>表情の設定</u> （表情を“喜”“怒”“哀”“びっくり”へ変更） 表情を変更後他の動作を設定することにより、心情からの、あるいは心情への因果的な文章を産出することを支援する ・ <u>表情の設定と動作・情景の設定との組み合わせ</u>
物語スキーマ (Story schemas)	ナラティブの構造	筋の展開 (欠如状況の自覚・ 欠如解消の工程・ 欠如の解消)	システムが、「読み聞かせ」と「物語作成」の活動（「欠如－補充」「試練－克服」）を提供することにより、物語の結末を埋めるような意識をもたせ、筋の展開が行えるよう支援する ・ <u>シーンの設定</u> （背景に表示することができるシーン[本端部・展開部・解決部]の一覧） システムそのものに発端部・解決部のシーンを持たせることにより、筋の展開が行えるよう支援する ・ <u>シーン切り替え</u> （次シーンが表示）
言語：語彙 (Vocabulary)	詳細	作話内容 (行為・人の状態・物の状態・心的状態)	子どもが、登場人物の表情や、動作、他登場人物の行動、情景を変更・設定することにより、作話内容の種類が増加するような文章を産出するよう支援する ・ <u>表情の設定</u> （表情を“喜”“怒”“哀”“びっくり”へ変更） ・ <u>動作の設定</u> （登場人物の相互行為が表示される） ・ <u>他登場人物の設定</u> （登場人物が飛行機に乗って出現する、花火が上がるなど話を膨らませるヒントを表示） ・ <u>情景の設定</u> （情景に、昼、夜、雨、雪などの詳細を設定）
言語：文構文 (Sentence syntax)	長さ	作話量	子どもが、ボタン操作した設定が、ストーリー展開ウィンドウに画像の変化が表示され、それらの動きを見ることにより、文章を産出することを支援する ・ <u>ストーリーの展開表示</u> （ウィンドウに選択されたシーンや登場人物が表示され、話を展開が表示される） ↑ 表情・動作・情景の設定により表示される

■ 開発研究 2 の整理

Narrative が発達 へ影響する能力	Narrative skill	開発研究 ②子物語	親からの足場かけ	親の足場かけに対するシステムによる足場かけ
自伝的記憶 (Autobiographical Memory)	意味 (Making Meaning) 評価 (Evaluation)	なし	(親が子どもの体験と結びつけた コメントをする)	
認知 (Cognition) プラン・モニター・評価	一貫性	なし	Back - channeling (復唱・文をつなげて確認) Yes/no questions (話がそれたら元に戻す)	① Web カメラ録画機能により、再生確認後、繰り返し作成できることによる支援 ② 物語作成時・映像視聴時に“お話作りのポイント”を表示することにより、親が言葉がけを意識するよう支援 (2 回目以降はチェックリストの不足点が協調表示される) ③ 親が、映像により自身の語りの引き出し状況を振り返り、子どもの反応を踏まえ、次回作成時に語りの引き出し方を工夫するよう支援する [自己観察] [自己反応] ④ 親が、チェックリストにより自身の語りの引き出し状況を振り返り、子どもの反応を踏まえ、次回作成時に語りの引き出し方を工夫するよう支援する [絶対基準自己判断] [自己反応] ⑤ 親が、映像により他親子の語りの引き出し状況とそれに応答する子どもの様子を観察し、次回作成時に語りの引き出し方を工夫するよう支援する [相対基準自己判断] [自己反応]
因果関係と時間 (Cause-and-effect and time reasoning)	結束性	なし	Back - channeling (復唱・文をつなげて確認) Wh-context questions (詳細な質問)	① ~ ⑤
心の理論・他者理解 (Theory of Mind)	(心理状態に関する言 語)	なし	Open-ended prompts (登場人物の気持ちに関する問いかけ) Wh-context questions (登場人物が何故したのか等の問いかけ)	① ~ ⑤
物語スキーマ (Story schemas)	ナラティブの構造	なし	Open-ended prompts (話を膨らませるような言葉がけ) Yes/no questions (話がそれたら元に戻す)	① ~ ⑤
言語：語彙 (Vocabulary)	詳細	なし	Wh-context questions (詳細な質問)	① ~ ⑤
言語：文構文 (Sentence syntax)	長さ	なし	Open-ended prompts (話を膨らませるような言葉がけ)	① ~ ⑤